

永田町 えひめ

二十七日に迫った内閣改造と自民党役員人事。「党内では多くの議員がポスト欲しさに(安倍内閣は退陣すべきだという)本心を明かさない。冷遇されても言うべきだ」。二十

三日の高村派総会で、事務総長の村上誠一郎氏(衆院2区)がひときわ声を張り上げた。七月の参院選で惨敗を喫した与党。十分な外相(麻生派)にも向

三日の高村派総会で、相)を含めての『人心一新』を求めたのだ』と解説してみせた。予先は幹事長就任が有力視される麻生太郎外相(麻生派)にも向

友達内閣』の総入れ替え」を強く訴えた。小泉前政権で行政・規制改革担当相を務めた村上氏。再入閣の打診を受けた場合は「お断りする」と言明し、参院選の敗因と位置付ける「地域再生」に全力を挙げる構え。安倍内閣の求心力低下を尻目に、舌ぼうはヒートアップする一方だ。

首相含め「人心一新」を

党内論議もなく続投表明した安倍晋三首相に対し、村上氏は「それがまず間違っている」と述べ、退陣を要求。「有権者はトップ(首相)し、「A級戦犯の『お

けられ「考えの近い人を雇って(重用して)も政権浮揚の点では意味がない」と批判。適材適所での人選を主張し、「A級戦犯の『お

(h)